こんな本もおすすめ



『ほるんだ、恐竜化石！
モンゴル恐竜発掘記』

平田 貴章 写真・作
小林 快次 監修

K457
（しらべもの）
457
小学館
2025年7月



『あなたのこころをよむえほん
レディ・ラビットのマジックショー』

マリアンナ・コッポ 作・絵
大友 剛 訳

E－チシキ－140
（ちしきえほん）
140
徳間書店
2025年9月



『おばけのリーブル
あの子はともだち？』

おおぎやなぎ ちか 作
ヒダカ ナオト 絵

ヨーオオ
（やさしいよみもの）
ヨ
オオ
岩崎書店
2025年10月



『ありさんシェフの
しょうたいじょう』

ダリオ・ポモドーロ 作
ロレンツォ・サンジョ 絵
ディーン・フジオカ 訳
講談社 編

E－ヨミモノ－ア
（えほん）
ア
講談社
2025年10月

☆★図書館の本のならびかた★☆

コンピュータの表示	じどうしつの本だなの表示	本のならびかた
E-ヨミハジメ-△	あかちゃんえほん	出版社のアイウエオ順
E-ヨミモノ-△	えほん	だいめいのアイウエオ順
E-チシキ-〇〇〇	ちしきえほん	すうじ順
K〇〇〇	しらべものの本	すうじ順
ヨ-△△	やさしいよみもの	作者のアイウエオ順
ニ-△△	にほんのよみもの	作者のアイウエオ順
セ-△△	せかいのよみもの	作者のアイウエオ順

紹介している本は各図書館の特集コーナーにあるよ。
もし本が見つからないときは、図書館の人にきいてね！



としょかんたろう

★「読みたいな」と思った本の予約・問い合わせは、下の図書館までお願いします。

中央図書館	☎072－627－4129	畑田町1番51号
おにクル ぶっくぱーく	☎072－622－2476	駅前三丁目9番45号 おにクル内
水尾図書館	☎072－637－4416	水尾三丁目3番18号
庄栄図書館	☎072－620－1171	庄二丁目26番12号
穂積図書館	☎072－620－1056	松ヶ本町8番30号 イオンモール茨木内

編集・発行：茨木市立図書館
発行日：令和8年(2026年)10月

＊本の表紙は出版社の許諾を得て掲載しています。

VEGETABLE OIL INK
この印刷物は、9,530部作成し
1部あたりの単価は11.92円です。

令和8年(2026年) 秋・冬号

次なる茨木へ。
SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
茨木市は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

おもしろい本みつけた！

《小学1・2・3年生》



1年の間に図書館に入った本を中心に、はばひろくおもしろい本を紹介します。

★ホームページにものっています。
気になる本をみつけたら、
さっそくさがしてみよう！

茨木市立図書館
おすすめ本のページ



ヨーラテ
（やさしいよみもの）
ヨ
ラテ
（本の背ラベルです。）
2025年12月

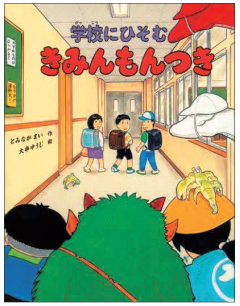
『世界一のワルい子ゴードン』

アレックス・ラティマー 作
（小学館）
中井 はるの 訳

ゴードンは、毎朝「どんなワルさをしようか」と考えます。しんごうきのボタンを何百回もつづけておしたり、動物園のトラのオリのかぎを開けたりといった、ひどいイタズラもしてきました。ある日、ゴードンはブタのアンソニーから花をもらいます。

はじめてやさしくしてもらったゴードンは、いったいどんな行動をとるのでしょうか。ゴードンのイタズラにあっとおどろき、思わず笑ってしまう本です。

茨木市立図書館



ヨートミ
（やさしいよみもの）

ヨ
トミ

2026年1月

『学校にひそむきみんもんつき』

とみながまい 作　（福音館書店）

大串ゆうじ 絵

けしゴムやうわばき、ランドセルなど、きみの持ち物につきまとう「きみんもんつき」は、持ち主をちょっとだけ困らせてしまいます。「けしゴムがない！」「うわばきを持って帰るのを忘れた！」「ランドセルが重い！」なんてときは、もしかしたら、かれらのしわざかもしれません。うまくつきあうヒントもこっそり書かれています。ここに紹介されていないきみんもんつきも、あなたのそばにいるかもしれません。



E－ヨミモノ－ジ
（えほん）

ジ

2025年11月

『じてんしゃにのったそば』

キョウ・マクレア 作
グレイシー・ザン 絵
あらいきくこ 訳　（あさ出版）

少し昔の東京には、自転車でそばの出前をしてくれる「でまえもち」という人たちがいました。いくつも重ねたそばのおぼんをかたにかついで、さっそうとまちを通り抜けていくその姿は、こどもたちのあこがれでした。

でまえもちを見つめるこどもたちや、そばの出前を心待ちにしている人々、にぎわうまちの様子が、やさしくあたたかみのある絵でえがかれています。



E－ヨミモノ－オ
（えほん）

オ

2025年8月

『おじいちゃんのおばけのはなし』

ジェームズ・フローラ 作　（大日本図書）

こみやゆう 訳

かみなりのなる夜に、おじいちゃんがこどもの時にまいごになった話をしてくれました。「この先は、こわい話になるから、やめておこう」と言いますが、ぼくはつづきが聞きたくておねがいをします。おじいちゃんのこわい話はどんなお話でしょうか。

ユニークなおばけがたくさん描かれ、こわさを引き立てています。この本を読めば、おばけやがいこつに出くわしたときはどうしたらよいかが分かります。



ヨーハセ
（やさしいよみもの）

ヨ
ハセ

2025年11月

『フニフとワムくん　つきよのかえりみち』

はせがわさとみ 作・絵　（佼成出版社）

ぞうのフニフとわにのワムくんは、とてもなかよしです。ある日、フニフはガレージセールをすることにしました。まったく売れずにこまっていると、ワムくんが助けてくれることになりました。どんないいアイデアがうかんだのでしょうか。

短いお話が4つあり、どれも二人のやり取りがほほえましく、心があたたかくなります。二人のお話は、他にも2冊出ていて、読むとやさしい気持ちになります。



E－チシキー420
（ちしきえほん）

420

2025年9月

『じかんはともだち』

てづかあけみ 作　（偕成社）

「じかん」って、いったい何だろう？というぎもんをわかりやすい文とカラフルでかわいいイラストでえがいている絵本です。言葉で説明するにはむずかしいけれど、いろいろな角度から、いろいろなじかんを教えてくれます。

じかんは止まってくれません。この本を読むと、じかんの大切さを感じることができます。数字が苦手でも楽しんで読むことができます。



E－ヨミモノ－ウ
（えほん）

ウ

2025年7月

『うっかり書房』

そのだえり 作　（理論社）

ワオキツネザルのワオくんは、本が大好きです。うっかり本を買いすぎてしまったので、本屋さんを開くことにしました。さらに、うっかり誰にも知らせていなかったせいで、最初はお客さんが来ませんでしたが、いろいろな人に助けてもらって、ようやく「うっかり書房」が開店しました。

うっかりもののワオくんが、みんなにも本を読んでもらうためにがんばる姿は、かっこいいです。